

関連する作品を読んで、 紹介しよう

小学校6年 国語
「ヒロシマのうた」
情報活用能力の育成

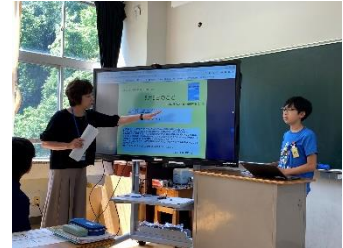
ねらい

- 戦争に関する作品を読み、悲惨さを知り、自分の考えを深めることができる。
- 自分が読んだ本の紹介を自分の言葉で語るができる。

学習展開

- 1 単元の見通しを立て、学習課題を設定する。
並行読書スタート
- 2 「ヒロシマのうた」を読み、自分の考えを深める。
 - ① 「ヒロシマのうた」を通読し、大まかな内容をつかむ。
 - ② 「ヒロシマのうた」の印象に残る場面や言葉について考える。
 - ・ヒロ子の思いや願いについて
 - ・わたしの心情 ・題名のもつ意味
 - ③ 「ヒロシマのうた」の印象に残る場面や言葉について考えたことを伝え合う。
- 3 関連作品の推薦カードを作成する。
 - ① グループで今まで読んだ本の共通点を見つける。
 - ・本のカードをグルーピングする。
 - ・全体で共有し、推薦カードの参考にする。
 - ② 推薦図書の良いところが伝わるように「推薦カード」を書く。
 - ③ 「推薦カード」を紹介し合う。
 - ・「推薦カード」を紹介し合い、感想を共有する。
- 4 単元の振り返りをする。
 - ・学習の中で気づいたこと、学んだこと、友達から学んだことなどをまとめる。
 - ・町立図書館で紹介カードを展示してもらう。

児童の様子



★指導のポイント

- ◆「推薦カード」について見通しをたてるために、単元の始めに司書教諭が紹介をする。
- ◆自分の意見がまとまらない児童のために、学校司書、司書教諭が個別に支援をする。
- ◆推薦図書については学校司書があらかじめ、学校司書が準備をする。

資料

『ヒロシマの歌』(今西祐行)、『わたし11さい』(うえずみひさこ)、『8月6日のこと』(中川ひろたか)、『さがしています』(アーサー・ピナード)、『いわたくんちのおばあちゃん』(天野夏美)、『一つの花』(今西祐行)、『おはじきの木』(あまきみこ)、『禎子の千羽鶴』(佐々木雅弘)、『白旗の少女・青い鳥文庫』(比嘉富子)、『つる サダコの願い』(エリナー・コア)、『六人の男たち なぜ戦争をするのか?』(マッキー)、『ピカドン だれも知らなかった子どもたちの原爆体験記』(講談社)、『ヒロシマ 消えたかぞく』(指田和)、『ひろしまのピカ』(丸木俊)、『ヒロシマの歌』(今西祐行)